

各報道機関 様

平成24年度病害虫発生予察注意報第4号の発表について

高知県病害虫防除所が、メロン黄化えそ病、キュウリ黄化えそ病に関する注意報を発表しましたのでお知らせします。本病気は、難防除害虫ミナミキイロアザミウマが媒介するウイルス病で、激しく発病すると枯死することもあり、大きな減収となります。病害虫発生予察注意報は、重要な病害虫の多発生が予想され、早急に防除措置を講ずる必要が生じた場合に発表する情報です。

病害虫名：メロン黄化えそ病、キュウリ黄化えそ病  
作物名：施設キュウリ、施設メロン

2月の現地調査において県内のハウス抑制および促成キュウリにおける本病の発生面積は平年の約1.5倍と多く、また各農業振興センター等の調べによるとハウスメロンにおいても土佐市を中心に平年より発生が多くなっています。

また、本病を媒介するミナミキイロアザミウマの発生も平年並からやや多めの発生で、ほ場内に感染源となるウイルス感染株が多いことから、今後の発生も多いと予想されます。

防除対策については、発病株の早期発見、除去とミナミキイロアザミウマの徹底防除が重要です。ミナミキイロアザミウマの防除については、薬剤防除は県の病害虫防除指針を参考に行い、その他ハウス開口部への防虫ネットの被覆、紫外線カットフィルムの使用、シルバーポリマルチの使用、栽培終了後のハウスの蒸し込み処理など耕種的、物理的防除法を併用してください。

今後、本病の発生ハウスに後作のメロン、キュウリを作付けする際には特に注意し、定植前に十分な対策を行ってください。

また、本病に関する詳しい情報は病害虫防除所ホームページのライブラリーをご覧ください。

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/byoki/boujoshou/>



キュウリ葉での病徴



メロン果実での病徴

お問い合わせは、病害虫防除所、榎本、平田（TEL.863-1132）または、環境農農業推進課 朝比奈（TEL.821-4545）まで。